

2007 年秋期 情報処理技術者試験 解答速報

【アプリケーションエンジニア】午後

(2007 年 10 月 24 日 01 時 20 分 公表版)

by “情報処理技術者試験.com” <http://itee.org/>

注意事項

- この解答速報は限られた時間で作成していますので、正確性は保証しません。
- 疑義や質問があるときは、上記ウェブサイト掲示板に投稿してください。
- 随時修正しますので、最新版は上記ウェブサイトでご確認ください。

お知らせ

- 情報処理技術者試験に関するご質問、ご相談などを随時承っております。
詳しくは上記ウェブサイトをご覧ください。

午後

| | | | | |
|-----|------|-----|----|---------------------------------|
| 問 1 | 設問 1 | a | | ISBN コード |
| | | b | | パスワード |
| | | c | | 書籍名 |
| | | d | | 注文 ID |
| | 設問 2 | (1) | e | 在庫数 |
| | | | f | 仮引当済数 |
| | | | g | 引当済数 |
| | | (2) | 場合 | ベストセラーや新刊などの特別書籍の場合。 |
| | | | 理由 | 特別書籍は、仕入予定数を下回る数量で納品される場合があるため。 |
| | 設問 3 | | | 在庫数から引当済数を減算し、引当済数を 0 にする。 |
| | 設問 4 | (1) | | 発送先 ID |

| | | | | |
|-----|------|------|----|---|
| | | (2) | | <pre> classDiagram class 発送先情報 { (属性省略) } class 顧客 { (属性省略) } 発送先情報 "1..*" -- "1" 顧客 </pre> |
| 問 2 | 設問 1 | | | 現本部サーバに届いた商品マスタを、新本部サーバに反映する。 |
| | | | | 両方の本部サーバから、全店舗サーバに商品マスタを送信する。 |
| | 設問 2 | マスタ名 | | 配送センタ在庫マスタ |
| | | 理由 | | 配送指示のときに、現在の在庫状況を参照する必要があるため。 |
| | 設問 3 | a | | 店舗名 |
| | | b | | システム移行日 |
| | | c | | 配送指示データ |
| | 設問 4 | | | 補充発注から在庫完了入力に至る、一連の処理が未完了のまま残るため。 |
| 問 3 | 設問 1 | a | | 顧客番号 |
| | | b | | 重点区分 |
| | | c | | 口座残高 |
| | | d | | 取引種類 |
| | | e | | 1 |
| | | f | | 0..* |
| | 設問 2 | | | 顧客テーブル |
| | 設問 3 | | | 日次重点顧客判定処理で重点区分が“通常”となっていた顧客を“重点”に更新する。 |
| | 設問 4 | (1) | | (1)(2)(3) |
| | | (2) | 処理 | (2) |
| | | | 目的 | 顧客付加レコードのうち、条件を満たす顧客の重点区分を“重点”に更新する。 |
| | 設問 5 | テーブル | | 案件 |
| | | 属性 | | 担当者番号 |
| | | 変更機能 | | 案件情報検索 |

| | | | | |
|-----|------|------|---|-------------------------------------|
| 問 4 | 設問 1 | | | 工場製品在庫 |
| | | | | 生産予定 |
| | 設問 2 | 変更処理 | | 出荷による在庫更新処理を、出荷報告を受けて行うよう変更する。 |
| | | 追加処理 | | トラックへの積み込み完了後に出荷報告を受ける処理を追加する。 |
| | 設問 3 | (1) | | “請求書”を除いた3枚複写とする。 |
| | | (2) | a | ¥3,200,000 |
| | | | b | ¥4,800,000 |
| | | | c | 消費税等 |
| | | | d | ¥5,040,000 |
| | | | e | ¥5,340,000 |
| | 設問 4 | (1) | | 売上ファイル |
| | | (2) | | 請求は得意先ではなく、販売代理店の本社及び量販店の本部あてに行うから。 |

午後

(小論文の出題内容へのコメント)

| | |
|-----|--|
| 問 1 | <p>業務システムのセキュリティ対策の設計について</p> <p>セキュリティ対策がテーマですが、もはや目新しくなくなりました。この問題はシステム全体ではなく、機能単位など細かいレベルでのセキュリティ対策設計を問われています。</p> <p>何でもかんでもガチガチのセキュリティ対策するのではなく、利便性やコストとのバランスを考慮した工夫を求められています。問題文に多数の事例が列挙されていますので、自分の経験から類似事例を引き出せれば、論述しやすかったと思われる。</p> |
| 問 2 | <p>優れたユーザビリティ実現のための Web システム設計について</p> <p>過去に2度ほど(2004年など)、Web システムのユーザインタフェースをテーマにした出題があり、論述を求められている論点もよく似ています。したがって、その過去問題で論文練習した人にとっては、ラッキーだったと言えるでしょう。</p> <p>Web システムの開発経験が少なくても、利用者として触れる機会は多々ありますので、それを思い起こせば誰にでも論述しやすいテーマだったと思われる。</p> |

AE2007 秋 (p.3)

Copyright© 情報処理技術者試験 .com, 2007

<http://itee.org/>

| | |
|-----|--|
| 問 3 | <p>大規模システムの一部を改造した場合の全体テストの方法について</p> <p>本番環境でのテストが容易にできない状況が前提です。大規模システムや、24時間稼働システムには、よくあることです。稼働中システムの保守として、似た出題例が 2001 年にあります。</p> <p>もっとも、既存の大規模システムでは、本番環境が使えないことを前提としたテスト環境がすでにあって、テスト方法を工夫する余地が小さいこともあります。そこは論述テクニックとして、自分が工夫してテストしたように書いてしまえば、対応できます。</p> |
|-----|--|

改訂履歴

2007/10/22 03:40 午後 問 1・2 解答例公表

2007/10/22 12:00 午後 問 3・4 解答例公表

2007/10/24 00:40 午後 コメント公表